



株式会社ラッキーリバー

ドローンで**遮熱**塗装

屋根から暑さ対策をして売上を上げて損失を防ぐ

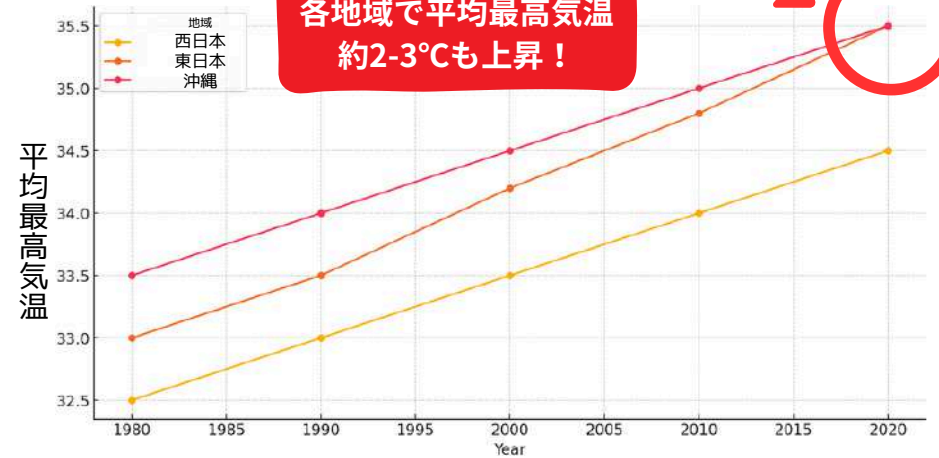
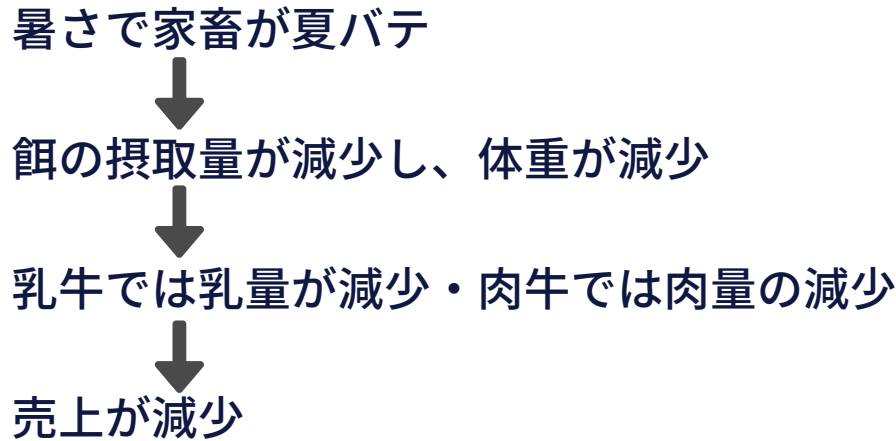


目次

- 01 背景
- 02 課題
- 03 解決策の提案
- 04 ドローン塗装
- 05 作業工程とサービスの流れ
- 06 実績・事例紹介
- 07 一般的な塗装屋 VS 当社
- 08 問い合わせ

01 背景

畜舎の夏季高温問題による家畜への悪影響



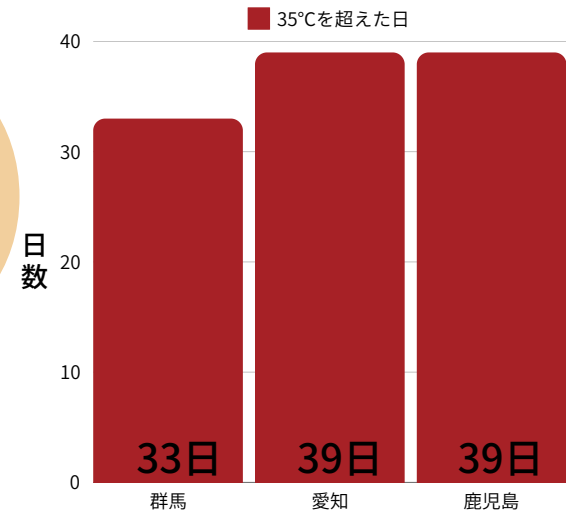
牛に影響を与える温度の目安

外気温と10°C以上も乖離!

- 25°C以上: 牛が暑さを感じ始める温度
- 27~28°C以上: 飼料摂取量の減少が始まり、乳牛では乳量の低下
- 30°C以上: 明確な熱ストレスが発生し、健康や生産性に大きな影響



※ちなみに2024年の最高気温は三重県桑名市で40.4°C!



02 課題

畜産業界が抱える課題

牛が痩せたり死亡して**売上に影響**していませんか？

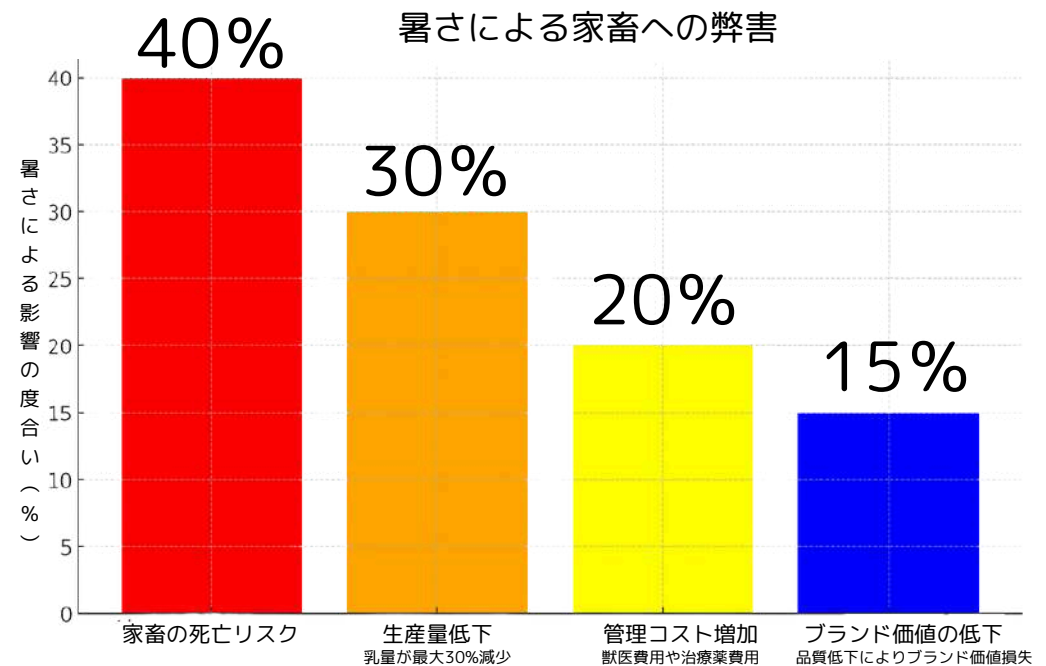
家畜の死亡リスク増加

生産量の低下

飼料摂取量の減少

繁殖成績の低下

健康管理コストの増加



<https://agriport.jp/dairy-livestock/ap-19593/>

<https://adaptation-platform.nies.go.jp/conso/report/5-2.html>

https://www.naro.affrc.go.jp/archive/nilgs/kenkyukai/files/jikyus_hiryoriyo2012_kenkyu04.pdf

参考資料に基づいたデータとなります

03-1 解決策の提案

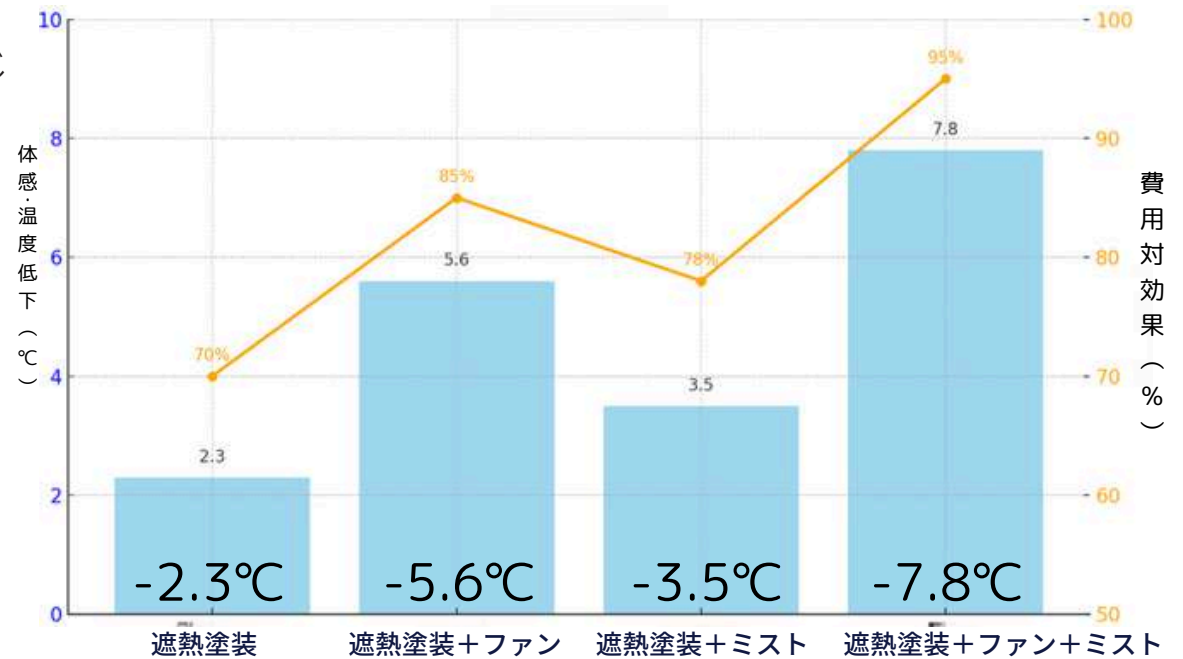
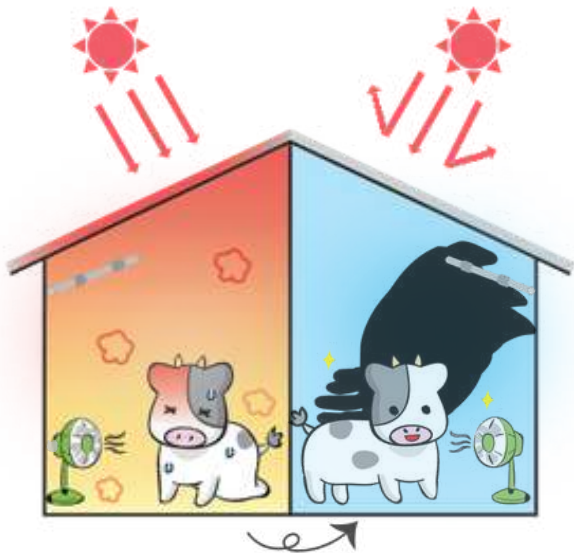
ファン

ミスト

+αで

屋根に遮熱塗装

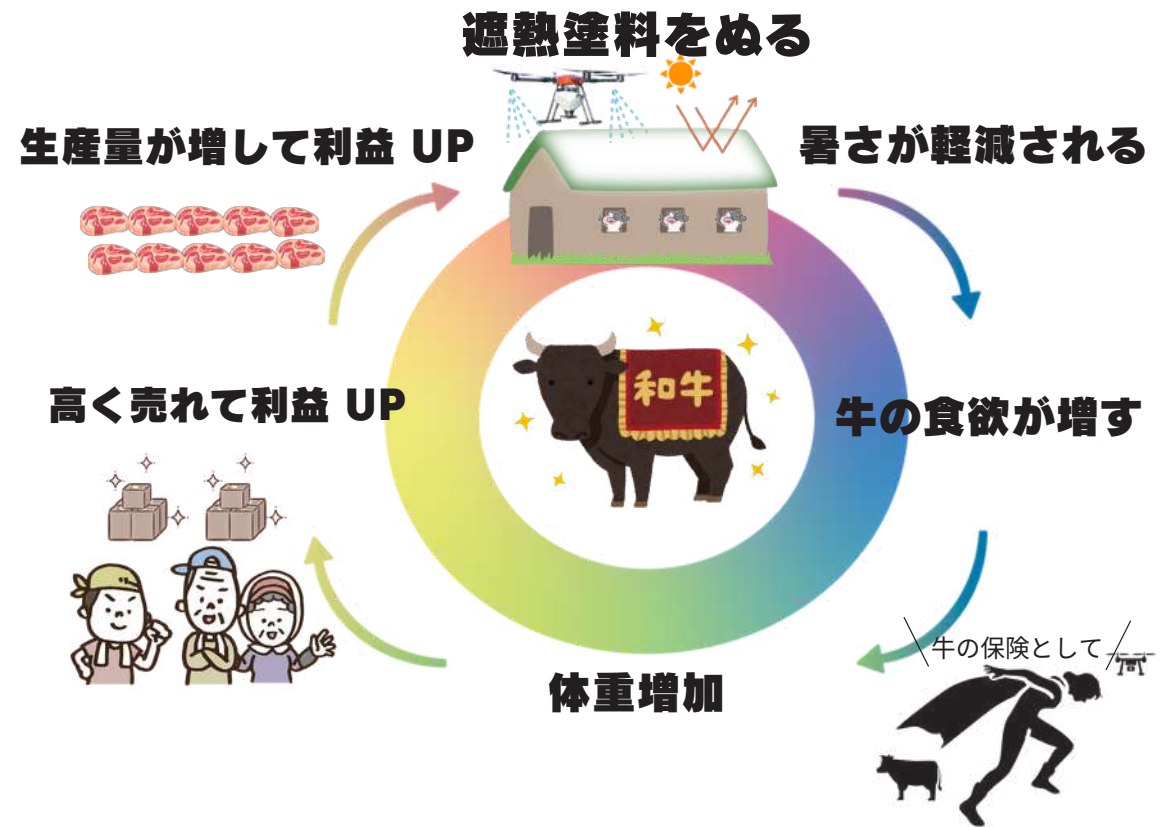
遮熱せず扇風機やミストをしても **サウナ**と同じ
高温多湿は牛も**不快**
遮熱塗料をすることによって



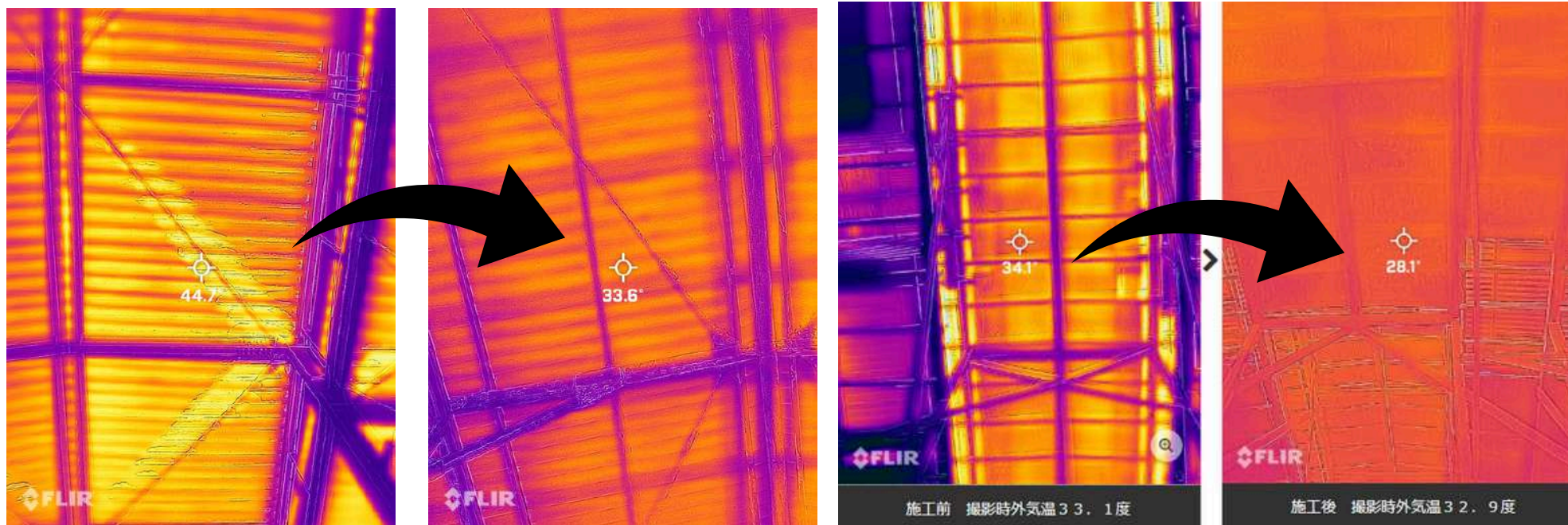
あくまでも目安の数値となります

遮熱対策で売上を上げて損失をふせぐ

03-2 解決策の提案



実際の温度比較



-11.1°C

-6.0°C

④ ドローン塗装

夏に向けて早めの準備を！

01

屋根に登らず安全

- ドローンと高所作業車で完結
- 作業員の安全を確保
- 安全管理コストも削減



02

費用が安い

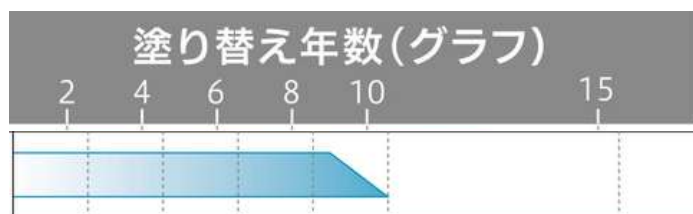
- 足場不要でコスト削減
- 短時間施工で人件費削減
- 効率的な塗装でコスパ抜群



03

工期が早い

- ドローン活用で迅速施工
- 天候の影響を最小限に
- 作業時間の短縮で即完了



※実際は部材や施工場所によって異なりますが、美観や性能、塗り替え経済性からおよその塗り替え年数を上図に示しております。

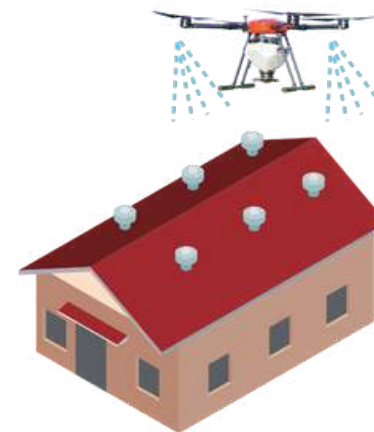
05 作業工程とサービスの流れ



1. 屋根の洗浄
屋根についている
コケやほこりを高圧
洗浄機で落とします。



2. 下塗り
遮熱塗料の接着をよく
するため、剥がれにく
くするための下塗り材
を塗っていきます。



3. 遮熱塗料散布
遮熱の塗料をドローン
で塗布していきます。

06 実績・事例紹介

遮熱塗装は暑さ対策だけでなく美観もよくなる！



遮熱塗料を使用した牛舎は、外気温より涼しく感じられました。牛舎内が快適な温度に保たれることで、私たちも積極的に牛舎に入るようになり、牛のストレスが軽減されたと実感しています。



例年に比べて牛舎は常に外気温より2℃ほど低く推移し、逆に塗装を行わなかった牛舎は外気温よりも2℃ほど高く推移していました。今年は30℃以下で推移した事はかなり大きかったと思います。

07 一般的な塗装屋 VS 当社

一般的な塗装屋



従来の塗装では足場設置や長時間作業が必要で、費用がかさむ



熟練作業員の確保が難しく、施工が遅れることがある



屋根の上に登り高所作業のリスクがあり、事故防止の対策が万全ではない



ドローンと高所作業車で作業が完結するため、低コスト化を実現



現場経験豊富なドローンパイロットの在籍



屋根に登らずに施工が完結して作業員にも屋根にも優しい

当社

08 問い合わせ先

担当 株式会社ラッキーリバー ドローン事業部

 075-874-3664

 school@luckyriver.biz

 <https://kyoto-lrdrone.com/pages/42/>

ご不明な点やご質問がございましたら、
どうぞお気軽にご連絡ください。
まずはお気軽に見積書をご依頼ください。



参考資料

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsmemm/2019/0/2019_OS0207/_article/-char/ja/

<https://agrijournal.jp/material/65939/>

https://agriculture.kubota.co.jp/agriinfo/interview/post_39713.html